

## 抗菌加工製品－抗菌性試験方法・抗菌効果

## 正 誤 票

区分	位置	誤	正
本体	5.3	試験管，…。また，白金耳及び試験管を…による。	試験管，…。また，白金耳及び試験管を…による。
	5.4 a)	精製水又は…pH 計を用い pH 7.0～7.2 (25 °C) …ならない。	精製水又は…pH 計を用い pH 6.8～7.2 (25 °C) …ならない。
	5.4 c)	精製水又は…，グルコース 1.0 g 及び寒天粉末 15.0 g を加え混合後，加熱溶解した後，pH 計を用い pH 7.0～7.2 (25 °C) になるように水酸化ナトリウム溶液又は塩酸溶液で調整し，これに寒天粉末 15.0 g を加え高圧蒸気殺菌する。調製後，…ならない。	精製水又は…，グルコース 1.0 g を加え混合後，pH 計を用い pH 7.0～7.2 (25 °C) になるように水酸化ナトリウム溶液又は塩酸溶液で調整し，これに寒天粉末 15.0 g を加え加熱溶解した後，高圧蒸気殺菌する。調製後，…ならない。
	5.6 d)	a) で前培養した…，菌数が $2.5 \times 10^5 \sim 10 \times 10^5$ 個/mL となるように調整し，…使用する。	a) で前培養した…，菌数が $2.5 \times 10^5 \sim 10 \times 10^5$ 個/mL となるように調製し，…使用する。
	5.6 e) 3) 2 段落目	なお，試験菌液…通常量の接種菌液を適用する場合又は同数の細菌個数を…高める。	なお，試験菌液…通常量の接種菌液を適用する場合と同数の細菌個数を…高める。

平成 23 年 3 月 1 日作成